

学校だより

NO. 468

令和5年6月30日



品濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

大好き自分 大好きみんな ともに創る品濃の子

・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体

・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校

電話 824-0651

FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

きゃっかしょうこ  
脚下<sup>きゃっかしょうこ</sup>照<sup>ア</sup>顧<sup>レ</sup>

ア レ ン ジ シ ュ ー ズ  
Arrange shoes

くつをそろえましょう

校長 世取山 実義

小学校や人がたくさん集まる場所は、本来、鳥たちは危険を察して、安全が確保できないと判断し巣を作り、卵を産み、ヒナを育てることはめったに行いません。しかし、ここ品濃小学校にはツバメの巣があり今年も無事にヒナたちが巣立つことができたようです。どうして小学校にツバメの巣があるのか私もいろいろと考えてみたのですが、その理由の一つに品濃小学校は安全な場所だとツバメは感じてくれていたのではないかということです。ツバメだけでなく誰もが安心できる品濃小学校にしていこうとさらに決意を固めた出来事でした。巣立ったツバメたちは南の国で元気に過ごし、来年の春またここ品濃小学校に戻ってきてほしいです。

幼少期に身につけたことは大人になっても継続できることがたくさんあります。その一つは自分のいた靴をきちんとそろえることです。学校では昇降口で靴を脱ぎ、靴箱に入れます。家庭では玄関で靴をぬぎ、そのあと子どもたちの靴はどうなっているのでしょうか。きれいに整った靴の置き方はその人の心のあり方の指標（バロメーター）ともいえます。ひと手間かけて心を添えて自分が履いた靴をそろえるということは、心を落ち着かせることにもつながります。自分の靴をそろえるだけでなく、他の人が脱いだ靴をそろえることは、自分の周囲をよくしていこうという他者への配慮がないとなかなかできないことです。脚下<sup>きゃっかしょうこ</sup>照<sup>ア</sup>顧<sup>レ</sup>という言葉があります。自分の足下を顧みて照らす、「我が身」「我が心」を振り返り自分のことをよく見つめ直す、という意味も含まれております。子どもたちが自分の靴、周りの靴をそろえている姿を見つけたら、是非声をかけてほめてあげてください。その行動は、大人になっても続くことと思います。

7月9日より6年生日光修学旅行、7月17日より5年生三浦宿泊体験学習が行われます。子どもたちにとって、いつまでも記憶に残る楽しい思い出作りがたくさんできるといいです。

7月も安全に気をつけ、そして、素敵に夏休みを過ごしてほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きのご支援ご協力を何卒よろしくお願い致します。